

第51回 日本腎臓学会 臨床調査発表

東京医科大学八王子医療センター(腎臓内科・栄養科)にて弊社の腎臓病食「やすらぎ膳」を腎臓病外来患者様に3食・1～3ヶ月間喫食していただく臨床調査が行われました。

この結果を第51回日本腎臓学会学術総会(平成20年5月30日 福岡国際会議場)にて発表が行われ、**腎機能を保持する食事療法としての有意性があったとの結果発表がされました。**

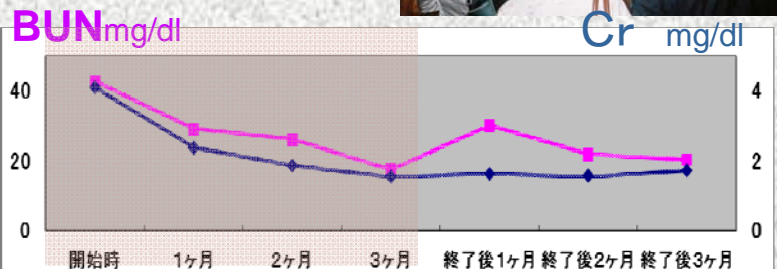
低たんぱく調整の宅配食活用・指導を学術的に証明するもので、日頃の医師・栄養士様の地道な指導活動の賜物と言えるでしょう。

弊社も糖尿病食「すこやか膳」/メタボ予防食「さらさら膳」とともに生活習慣病改善の為、安心して安全な商品作り、ご利用者様とのコミュニケーションも大切にサービス提供に邁進して参ります。



<成績>

被験者11名(男性8/女性3 平均年齢74.2歳)の中でBUN値は宅配食開始時より1ヵ月目で6名が有意に下がっていた。Cr値も7名が有意に改善されていた。



<結論>

- 安定した栄養量の継続的摂食で尿素窒素が低下し腎機能保持に役立つと思われた。
- 電子レンジ使用で大変簡便である。
- 数例において、終了後の食事療法継続に活かされていると思われた。

<今後の課題と展望>

- 治療食ゆえの『味やにおい』などが中断の一因になっていると考えられた。
- 『安心して食べられる』との評価があるが、継続性について工夫が必要となる。
- 期間を限定しての利用も一方法である。

宅配食		自宅食	
BUN mg/dl	Cr mg/dl	BUN mg/dl	Cr mg/dl
63.0	3.1	48.2	2.3
38.2	2.8	37.9	2.6
45.6	3.6	59.4	4.8
30.3	4.0	45.4	4.2
49.0	2.4	60.5	2.3
28.9	2.5	24.0	1.7
54.8	2.5	46.3	2.3
32.0	2.6	30.0	2.2

